

○井神議長 通告5番目、10番、田畑昭二議員、発言席から総括方式で質問願います。

田畑昭二議員。

○田畑議員 10番、田畑昭二です。議長の許可を得ましたので、さきの通告に従いまして、3点、総括方式で質問いたします。

まず1点目は、水道事業についてであります。

国民生活に不可欠なインフラであります水道事業が、今日、その維持をめぐり、大切な時期にきております。今後、急速に水道管の施設の老朽化が進み、課題解決へ取り組む自治体も多くなってきております。

そこで、当市の老朽管の現状はどのようになっているのか。また、水道管の耐震性の現状はどのようになっているか。また、今後の安定供給の重点施策と対策はどのように考えているのか、お答え願いたいと思います。

2点目は、ごみの不法投棄についてであります。

岩出公民館敷地内に、夜間にごみが3年前より不法投棄され続けていると聞いておりますが、さまざまな施策が講じられているとは思いますが、その対策はどのように考えているのか。例えば、監視カメラの設置なども効果があると思われませんが、どうでしょうか。

3点目は、街路灯についてであります。

岩出駅前通りの商店街の街路灯は感じがよく、皆様に好かれておりますが、点灯時間が明るい時間帯のときから点灯されており、もう少し節電を考えてもいいのではないかと思います。また、点灯の仕組みはどのようになっているかもお答えください。

以上、3点についてよろしく願います。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

上下水道局長。

○濱田上下水道局長 田畑議員のご質問の水道事業についての1点目、老朽管の現状はについて、お答えします。

老朽管の現状につきましては、平成27年度末の水道管の総延長は約373.1キロメートルでございまして、そのうち耐用年数40年を超えた老朽管は約25.4キロメートルで、老朽化の割合は6.8%でございまして。

なお、耐用年数40年とは、地方公営企業法に基づく固定資産の減価償却方法であり、実際には、それ以上の耐久性もあることから、長寿命化を図っております。

次に2点目、水道管の耐震性の現状についてお答えします。

水道管の耐震性の現状につきましては、管路延長約373.1キロメートルのうち耐震化した延長は約125.4キロメートルで、耐震化率は33.6%でございます。

次に、3点目の今後の安定供給の重点施策と対策はについてお答えします。

現在、新設道路工事による布設工事、下水道事業による移設工事などに合わせて工事を実施しており、耐震化を進めております。

また、今年度当初から第三浄水場の供用を開始し、水源の複数化を図り、上水道の安定供給を進めておりますが、昨年度策定した水道事業ビジョンに基づき、アセットマネジメントを実施し、既存施設の長寿命化や投資の平準化により、財政面の軽減に努め、さらなる安定供給を図っているところです。

○井神議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員ご質問の2番目についてお答えいたします。

岩出地区公民館の敷地内は、現在、地域の資源ごみ置き場となっており、粗大ごみなどの不適正なごみがたびたび排出されていることは把握しております。

これまで日常のパトロールのほか不法投棄禁止看板の設置、ごみ置き場への張り紙、周辺自治会への分別方法の回覧等の対策を講じてまいりました。また、不適正に排出されたごみの展開調査を行い、排出者が特定できたごみについては、排出者への引き取り指導を行っております。

さらに、今年度は和歌山県の不法投棄監視カメラ設置事業を活用し、監視カメラを一定期間設置することで不法投棄の抑制を図ってまいります。

以上です。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 田畑議員のご質問、街路灯についてお答えいたします。

岩出駅前の市道宮岩出駅線における街路灯について、道路交通の安全及び円滑を図ること、また、地域の防犯のために、平成18年度から平成23年度で31基設置しております。

なお、通常の点滅の方法は、暗くなれば点灯、明るくなれば消灯となる照度センサーにより自動で行っておりますが、本路線については、沿線建物の明かりに反応し、照度センサーが誤作動することから、年4回、点灯時間帯を手動で変更し、タイマーで点滅を行っております。

年間の点灯時間は、5月1日から8月31日までは18時30分から4時30分、9月1日から9月30日までは17時30分から5時30分、10月1日から2月28日までは16時30分から6時30分、3月1日から4月30日までは17時30分から5時30分となっております。

ます。

現在は、防犯上、より安全を期して早目に点灯しておりますが、議員ご質問のとおり、節電も勘案し、日没・日の出の時間帯に合わせて、今後、点灯時間を検討してまいります。

○井神議長 再質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 まず、水道事業についてですが、水道管の耐震化が、現在、33.6%ということなのですが、今後、全てやるにはどのぐらいの年月がかかるのでしょうか。また、このたびの、この秋の臨時国会で28兆円の補正が組まれる予定になっておりますが、その中で新聞報道では、水道管の耐震化事業に補助を行うと出ておりましたけれども、当市の見通しはどうなっているか、お尋ねいたします。

2点目、不法投棄の件ですが、一定期間、監視カメラを設置するということなのですが、一定期間過ぎれば、あと、どのような対応をされる考えか、お聞かせ願いたいと思います。

3点目は、節電という観点で、少し見直しをこれからしていこうということなのですが、答弁にもありましたように、安全上、早目に点灯することも非常に大事ではありますが、その上で節電との兼ね合いが必要でもあります。その辺、特にきめ細かな対応をよろしくお願ひしたいと思います。

以上3点です。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

上下水道局長。

○濱田上下水道局長 再質問の耐震化の完了はいつごろになるのかについてお答えします。

水道施設の耐震化につきましては、耐震基準導入後、平成13年以降、老朽化施設の更新とあわせて耐震化の整備を行っております。法定耐用年数に合わせた施設の更新に努めておりますが、国の水道ビジョンでは、耐震化が必要な施設の全てを今後50年から100年で耐震化するよう求められています。

現在、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に管理運営するため、アセットマネジメントを策定しているところであり、緊急性、重要度等を考慮しながら、耐震化の整備を進めてまいります。

次に、国の補正予算に関連してお答えいたします。

本年度、国の第2次補正予算案に、老朽化した水道管を耐震性のある管に更新す

るための支援費が計上されておりますが、この交付金の採択基準は、給水人口5万人以上の水道事業者では、水道料金が全国平均より高い事業者であること、資本単価が1立米当たり90円以上であることなどとなっております。

本市の水道事業は、他市に比べ、健全な管理運営を維持しており、採択基準に該当しないため交付されません。

以上です。

○井神議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員の再質問にお答えいたします。

先ほど申しあげました県の事業における監視カメラの貸与期間は、3カ月以内となっております。貸与期間終了後につきましては、日常のパトロールなど、これまでの対策を強化したいと考えておりますが、貸与期間終了後に不法投棄が改めて発生するようであれば、再度監視カメラの設置を検討してまいります。

以上です。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 街路灯についての再質問にお答えします。

点灯時間の検討につきましては、議員ご指摘のとおり、安全性や節電を勘案して、きめ細かな対応を心がけてまいりたいと考えております。

○井神議長 再々質問を許します。

(なし)

○井神議長 以上で、田畑昭二議員の一般質問を終わります。